

・10月29日(日)、清水町産業祭・清水町国際交流フェスタを開催しました。

産業祭では、町で活躍する17社の企業の皆さまにご出展をいただき、子どもから大人まで多くの方々が体験や展示を通して、町内産業への理解を深めました。

国際交流フェスタでは、町内在住の外国人の皆さまと町民の皆さまとの国際交流を推進するため、各国の料理の出店やフリーマーケット、世界の民族舞踊等のステージパフォーマンスの披露などが行われました。

また、同日には第2回清水町KidsBikeCup2023と清水町わんわんフェスティバルも開催され、多くの方々にご来場いただきました。



・10月19日(木)、町出身のプロゴルファー岩崎亜久竜（いわさき あぐり）選手が国内最高峰の公式競技大会「日本オープンゴルフ選手権」でツアー初優勝を果たしたことを祝福するため、懸垂幕を掲揚しました。

郷土の誇りである岩崎選手のさらなるご活躍を期待するとともに、今後も多くの皆さまの応援をよろしくお願いします。



・10月18日(水)、10月定例区長会に出席しました。

8月27日の総合防災訓練や9月2、3日の敬老会の実施におきましては、区民の皆さまとの調整や役員等の選出など、区長の皆さまにご尽力いただき誠にありがとうございました。

今後につきましても、地域コミュニティの活性化を図るため、各事業への区長の皆さまのご理解・ご協力をお願い申し上げます。



・10月17日(火)、狩野川改修促進期成同盟会の会長として、同盟会の各市町代表と共に、国土交通省及び財務省(東京)に出向き、要望活動を行いました。

本同盟会は狩野川水系改修事業の促進と流域の治水対策を図ることを目的とし、国管理の狩野川流域沿線の4市3町(沼津市、三島市、伊豆の国市、伊豆市、長泉町、清水町、函南町)で構成されています。

近年の局地的に集中する豪雨により、住民の生活を脅かす状況が発生している中、治水事業として、堤防整備や河道掘削などの河川整備を必要とする箇所は多く残っており、早期に治水安全度を向上させることは喫緊の課題であることから、各市町の意見を取りまとめ、事前防災としての狩野川沿川の治水事業の促進や支援について要望しました。

要望の際には、地元選出の国会議員のお力添えをいただきながら、4市3町の思いを伝えてまいりました。

【場所】

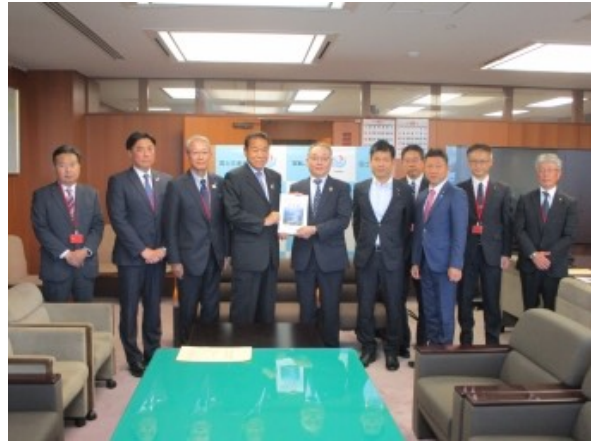
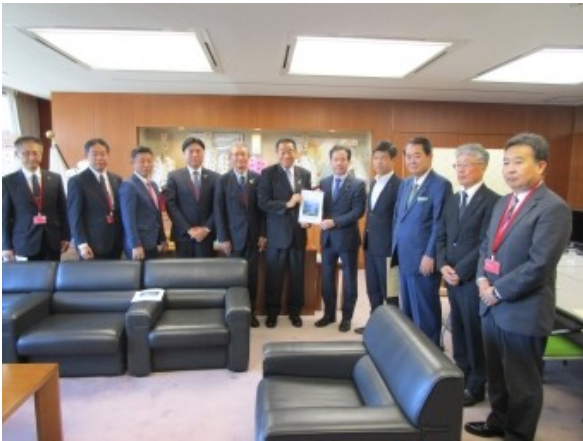
国土交通省、財務省

【要望先】

国土交通省	国土交通大臣政務官	こやり 隆史 様
国土交通省	技官	吉岡 幹夫 様
国土交通省	水管理・国土保全局次長	小笠原 憲一 様
国土交通省	官房審議官	中野 穰治 様
財務省	主計局主査	奈須 孝 様

【同行議員】

衆議院議員	勝俣 孝明 様
参議院議員	牧野 京夫 様
参議院議員	若林 洋平 様



・10月16日(月)、第9回オープントーナメント静岡県空手道選手権大会に出場した、南小学校6年生の加藤和麗（かとうにこり）選手と同1年生の加藤笑麗（かとうえみり）選手が来庁され、町から奨励品をお渡ししました。

本大会において、和麗選手は小学6年男子軽量クラスで準優勝、笑麗選手は小学1年女子クラスで優勝という素晴らしい結果を残されました。

お二人のご活躍を大変誇らしく思うとともに、今後も各種大会で実力を十分に発揮していただき、全国の頂点、世界を目指して頑張っていただけることを期待しています。



・10月16日(月)、吉田謹治様（中徳倉）から、町制施行60周年にちなんで、清涼飲料水60箱を寄贈していただきました。

吉田様は、過去に清水町水泳協会の会長を務められるなど、町のスポーツ振興に長年にわたりご尽力をいただいております。寄贈いただいた清涼飲料水は、町制施行60周年記念式典やランニングバイク大会などで活用させていただきます。



・10月16日(月)、明治安田生命保険相互会社沼津支社様から、豊かな地域社会づくりに貢献する「地元の元気プロジェクト」に基づくご寄附405,500円をいただきました。

このご寄附は、社員の皆さま方が出身地などを指定して行う任意の募金に、同社からの拠出金を上乗せした金額を「私の地元応援募金」として全国の自治体に分配いただいているもので、清水町には令和2年度から総額160万円以上の寄附をいただいております。

いただいた寄附金は、笑街健幸パスポート事業に活用させていただき、笑街健幸のまちづくりの更なる前進を目指してまいります。



・10月10日(火)、狩野川改修促進期成同盟会の会長として、国土交通省沼津河川国道事務所及び国土交通省中部地方整備局において、要望活動を行いました。

この同盟会は狩野川水系改修事業の促進と流域の治水対策を図ることを目的とし、狩野川流域の4市3町で構成されています。

近年の局地的に集中する豪雨により、住民の生活を脅かす状況が発生している中、治水事業として、堤防整備や河道掘削などの河川整備を必要とする箇所は多く残っており、早期に治水安全度を向上させることは喫緊の課題であることから、各市町の意見を取りまとめ、事前防災としての狩野川沿川の治水事業の促進や支援について要望しました。



・10月4日(水)、固定資産評価審査委員会委員の任命辞令交付式を行いました。

任命された岩崎孝様は、平成29年10月から2期6年間の固定資産評価審査委員会委員の実績を持ち、固定資産に関する知識が豊富であることから再任いたしました。

今後も、適正かつ公平な固定資産評価審査を行っていただけるものと確信しています。



・10月2日(月)、令和5年10月1日付けで新たに副町長に就任した秋山治美氏に辞令を交付しました。

秋山氏は、昭和53年に清水町役場に入庁し、福祉課長や消防長、安全安心課長を歴任し、その後、町議会議員を2期務めました。秋山副町長を迎えた新体制のもと、「くらしやすさで未来をともにつくるまち・清水町」の実現に向けて、さらに邁進してまいります。

